

かんたん設定ガイド

コンセント埋め込み型Wi-Fi 6アクセスポイント

● セットアップ動画

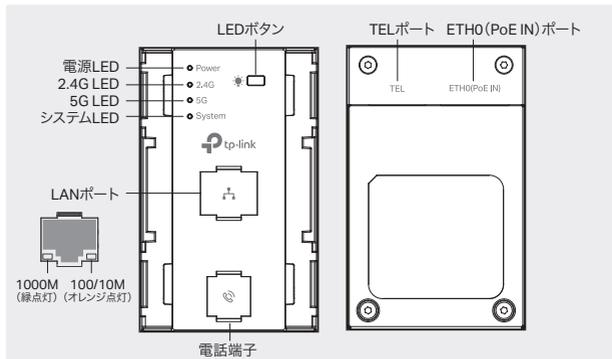
右側のQRコードをスキャンするか、下記URLからご確認ください。
<https://www.tp-link.com/support/setup-video/?type=smb>



注: 画像は実際の製品と異なる場合があります。

©2025 TP-Link 7106512045 REV1.1.0

1 外観



LED表示

電源LED

- 点灯: 起動中
- 点滅: 初期化中
- 消灯: 電源オフ/LED表示オフ

2.4G LED/5G LED

- 点灯: 2.4GHz/5GHz Wi-Fi オン
- 点滅: 2.4GHz/5GHz Wi-Fi でデータ送受信中
- 消灯: 2.4GHz/5GHz Wi-Fi オフ

システムLED

- 白点灯: 正常動作中
- 赤点灯: 動作に異常あり
- 1秒間隔で点滅: EAPをアップグレード中
- 高速点滅: EAPを初期化中/OmadaコントローラーがEAPを検出中*

* Omadaコントローラーでこの機能を有効にすると、LEDが10分間高速点滅し、デバイスを検出して認識させることが可能になります。この機能は手動で無効にすることができます。無効にするとデバイスのLED点滅も停止します。

- 点滅(連続): EAPのネットワークが切断状態

Link/Act LED (LANポート部)

- 緑点灯: 1000Mbpsで通信可能(リンク中)
- 緑で点滅: 1000Mbpsでデータ送受信中
- オレンジ点灯: 10/100Mbpsで通信可能(リンク中)
- オレンジで点滅: 100/10Mbpsでデータ送受信中
- 消灯: デバイス未接続

各部の名称とはたらき

LEDボタン

ボタンを1秒間押し、LEDのオン/オフを切り替えることが可能です。EAPの電源が入っている状態で、LEDが点滅するまで約20秒間長押しすると、工場出荷時の設定にリセットされます。

LANポート

LANケーブルを使用してデバイスを有線接続します。

電話端子

電話機に接続します。

TELポート

電話回線に接続します。

ETH0 (PoE IN) ポート

PoEスイッチ等のPSE(給電機器)に有線で接続すると、データ伝送と給電の両方を行います。

2 取り付ける前に

本製品を設置する前に、下記のものをご用意いただく必要があります。

- 既設のジャンクションボックス
- LANケーブル
- ブラスドライバー
- PoEスイッチ

取り付け時の注意事項

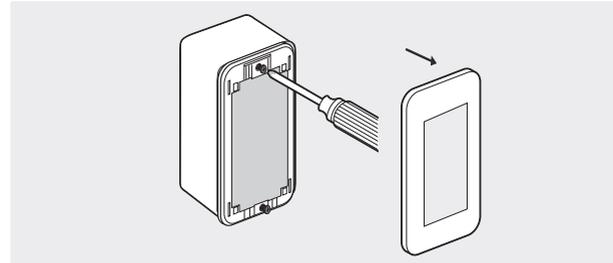
- 放熱スペースを十分に確保できる場所および環境に設置してください。
- 本製品および取り付け用キットの重量を支えるのに十分な強度がある場所に設置してください。
- 本製品を取り付ける際は、設置場所に十分なスペースがあるか確認してください。また、放熱を妨げることがないよう、EAPの前後左右から一定の間隔を空けるようにして設置してください。

安全にご使用いただくために

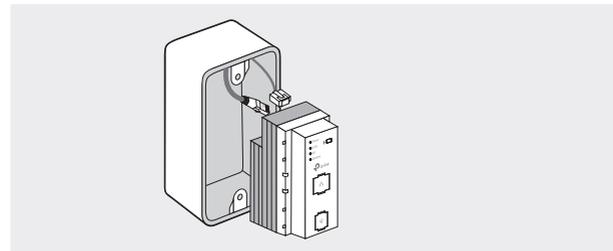
- 製品を火気・水・湿気・高温から遠ざけてください。
- 製品の分解・修理・改造等をしないでください。サポートが必要な場合は弊社までお問い合わせください。
- 無線機器の利用制限がある場所で製品を使用しないでください。
- PoEポートを使用してリチウムバッテリーおよびリチウムバッテリー駆動式デバイスを充電しないでください。
- 本製品はIEC 62368-1規格に規定されたクラス2電源(PS2)または制限電源(LSP)に準拠したデバイスからのみ給電可能です。

3 取り付け方法

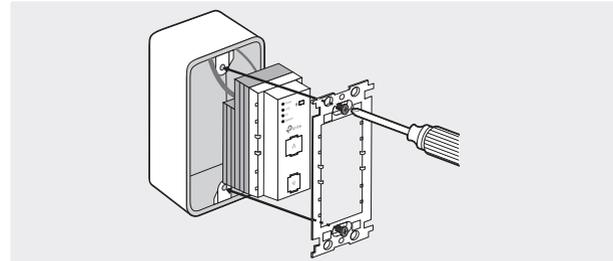
1. プレートを取り外します。取り付け枠がある場合は取り付け枠も取り外します。



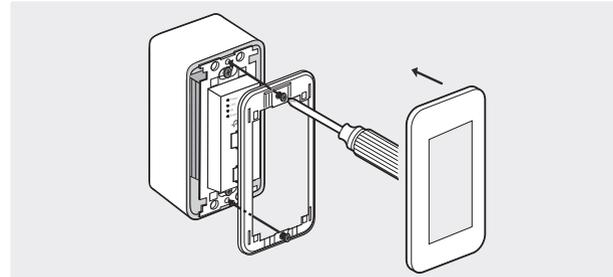
2. LANケーブルをETH0 (PoE IN) ポートに接続し、電話線をTELポートに接続します。取り付ける際は、各ケーブルに物理的な負荷がかかりすぎないように注意してください。



3. EAPの上に取り付け用キットを合わせ、ジャンクションボックスにネジで固定します。取り付け用キットは付属していません。



4. 取り付け枠をジャンクションボックスにネジで固定してから、プレートをはめ込めば完了です。



4 セットアップ

● 方法1: スタンドアロンモード

個別にEAPの設定および管理を行います。(数台のデバイスを使用した小規模ネットワークにおすすめ)

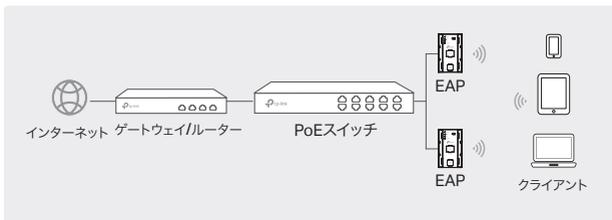
● 方法2: コントローラーモード

Omadaコントローラーを使用してEAPの一括設定および集中管理を行います。

方法1: スタンドアロンモード

スタンドアロンEAPは、APモードまたはルーターモードで動作します。環境に応じて動作モードを選択できます。初期設定ではAPモードになっています。

● タイプ1: APモード



- 注:
- 設定を行う前に、各デバイスに電源が入った状態で、上図の様に接続されているか確認してください。
 - DHCPサーバー (DHCP機能を有効にしたゲートウェイ/ルーター等) を使用してLAN内でEAPおよびクライアントにIPアドレスを割り当てる必要があります。

Omadaアプリ

1. QRコードをスキャンするか、App StoreまたはGoogle PlayからOmadaアプリをダウンロードします。



2. 製品ラベルに記載されている初期SSIDを使用して、モバイルデバイスとEAPを接続します。
3. Omadaアプリを開き、**スタンドアロンモード**の画面に進み、EAPが表示されるのを待ちます。表示されたEAPをタップして設定します。

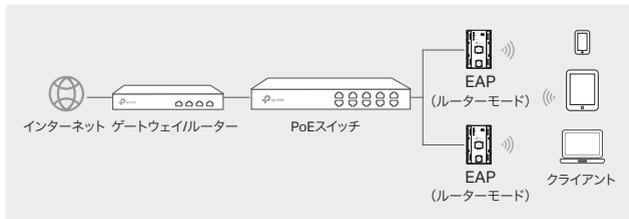
Omadaアプリは、一般的な設定をすばやく設定できるように設計されています。詳細設定を行いたい場合は、EAPのWeb管理画面から設定するか、コントローラーモードを使用してください。

Web管理画面

1. 製品ラベルに記載されている初期SSIDを使用して、デバイスとEAPを接続します。
2. Webブラウザを開き、<http://tplinkeap.net>にアクセスしたら、ユーザー名とパスワードの両方に「admin」と入力してログインします。
3. 新しいユーザー名およびパスワードを作成し、セキュリティを強化します。
4. APモードを選択し、画面の指示に沿ってEAPを設定します。

他のEAPを設定する場合は、デバイスをEAPごとの初期SSIDに接続し、上記と同じ手順に沿って設定してください。基本的な機能はスタンドアロンモードで設定できますが、高度な機能を設定したい場合は、コントローラーモードを使用してください。

● タイプ2: ルーターモード



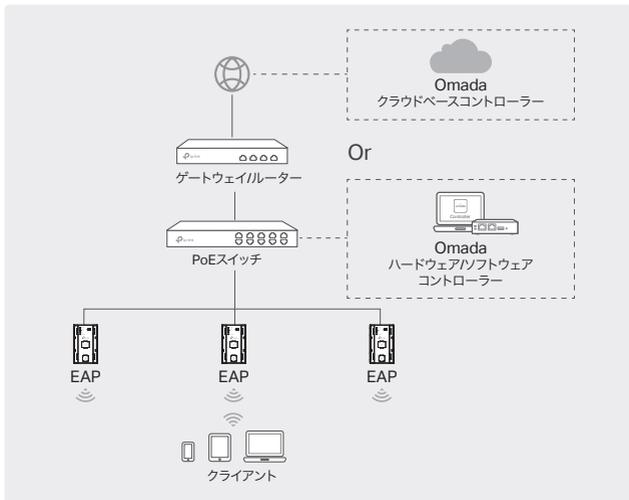
- 注:
- 設定を行う前に、各デバイスに電源が入った状態で、上図の様に接続されているか確認してください。
 - EAPがルーターモードで動作している場合、OmadaアプリやOmadaコントローラーでは管理できません。

Web管理画面

1. 製品ラベルに記載されている初期SSIDを使用して、デバイスとEAPを接続します。
2. Webブラウザを開き、<http://tplinkeap.net>にアクセスしたら、ユーザー名とパスワードの両方に「admin」と入力してログインします。
3. 新しいユーザー名およびパスワードを作成し、セキュリティを強化します。
4. **ルーターモード**を選択し、画面の指示に沿ってEAPを設定します。

方法2: コントローラーモード

Omadaコントローラーでは、Omada対応のゲートウェイ/ルーター・スイッチ・アクセスポイント等を統合した集中管理が可能です。



- 注:
- DHCPサーバー (DHCP機能を有効にしたゲートウェイ/ルーター等) を使用してLAN内でEAPおよびクライアントにIPアドレスを割り当てる必要があります。
 - Omadaコントローラーを使用する場合は、Omadaデバイス (ゲートウェイ/ルーター・スイッチ・EAP等) を検出・導入・管理するために、デバイスへのネットワークアクセスが必要です。

Web管理画面

1. Omadaコントローラーを用意します。
 - **オプション1: Omadaハードウェアコントローラーの場合**
ハードウェアコントローラーを入手し、設定ガイドを参照してセットアップします。
 - **オプション2: Omadaソフトウェアコントローラーの場合**
WindowsまたはLinux OSを搭載したPCで、<https://www.tp-link.com/support/download/omada-software-controller/>からソフトウェアコントローラーをダウンロードします。ダウンロードしたファイルを実行し、セットアップウィザードに沿ってコントローラーを設定します。
注: デバイスを管理するには、ソフトウェアコントローラーがPC上で動作し続ける必要があります。
 - **オプション3: Omadaクラウドベースコントローラーの場合**
Omadaポータル (<https://omada.tplinkcloud.com>) にTP-Link IDでログインし、クラウドベースコントローラーの追加・設定を行います。
2. コントローラーを起動してサイトにアクセスし、**デバイス画面**に進みます。
3. EAPの設定および管理が可能です。

ヒント:

Omadaハードウェア/ソフトウェアコントローラーでは、クラウドアクセスを有効にし、TP-Link IDを紐付けすることでOmadaポータルからコントローラーやOmadaデバイスにリモートでアクセス・管理することができます。

詳細な設定方法は、HPのコントローラーユーザーガイドをご参照ください:
<https://www.tp-link.com/support/download/?type=smb>

Omadaアプリ

1. QRコードをスキャンするか、App StoreまたはGoogle PlayからOmadaアプリをダウンロードします。



2. ローカルアクセスまたはクラウドアクセスからコントローラーを追加します。
 - **オプション1: ローカルアクセス**
注: ローカルアクセスは、オンプレミスのハードウェア/ソフトウェアコントローラーに適用されます。
 - a. 製品ラベルに記載されている初期SSIDを使用して、モバイルデバイスとEAPを接続します。
 - b. Omadaアプリを起動し、**コントローラーモード画面**に進みます。右上の+ボタンをタップしてコントローラーを追加します。
 - **オプション2: クラウドアクセス**
 - a. Omadaアプリを起動し、TP-Link IDでログインします。
 - b. **コントローラーモード画面**に進みます。TP-Link IDに紐付けられたコントローラーのリストが表示されます。
3. コントローラーを起動してサイトにアクセスし、**デバイス画面**に進みます。
4. EAPの設定および管理が可能です。
Omadaアプリは、一般的な設定をすばやく設定できるように設計されています。

詳細設定を行いたい場合は、コントローラーのWeb管理画面から設定してください。

詳細な設定方法は<https://www.tp-link.com/support/download/?type=smb>から各コントローラーやEAPのユーザーガイドをご確認ください。

TP-Link Communityに参加すると、問題解決に向けてTP-Linkのユーザーやエンジニアと情報交換を行うことができます。
<https://community.tp-link.com/business>

カスタマーサポートやユーザーガイド等その他情報については、右記QRコードをスキャンするか、下記URLからご確認ください:
<https://www.tp-link.com/support/?type=smb>

